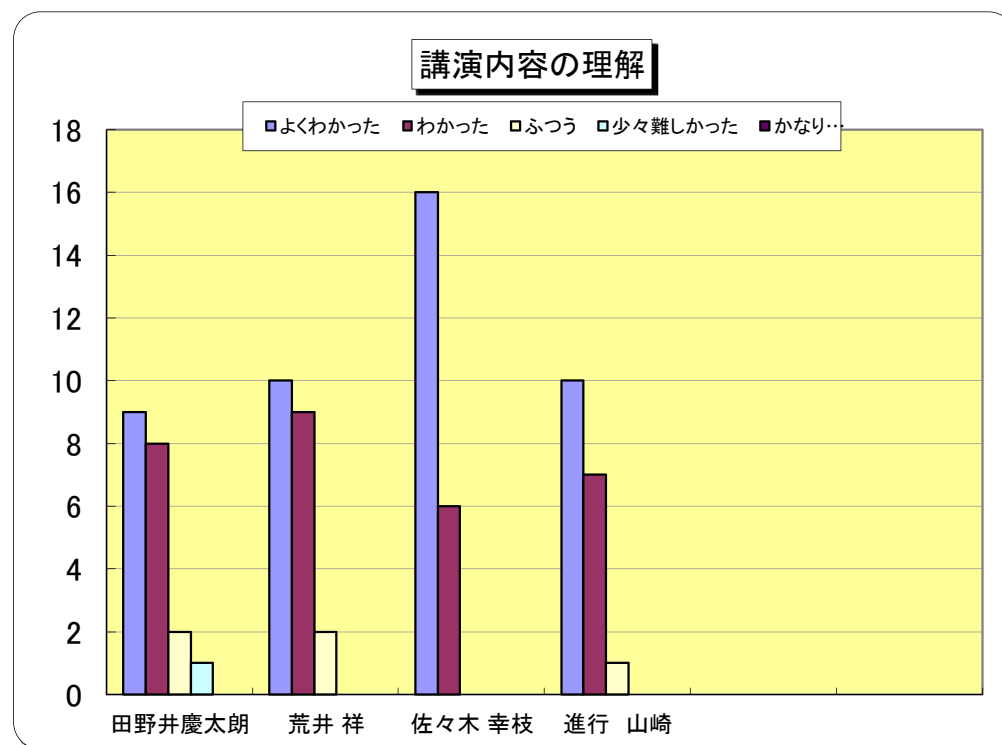


食のリスクコミュニケーション・フォーラム2015(4回シリーズ)  
 第4回テーマ:「消費者が過敏になりがちな「ハザード」に関するリスコミ」  
 2015年10月25日(日)13:00~18:00  
 於 東京大学農学部フードサイエンス棟内 中島董一郎記念ホール

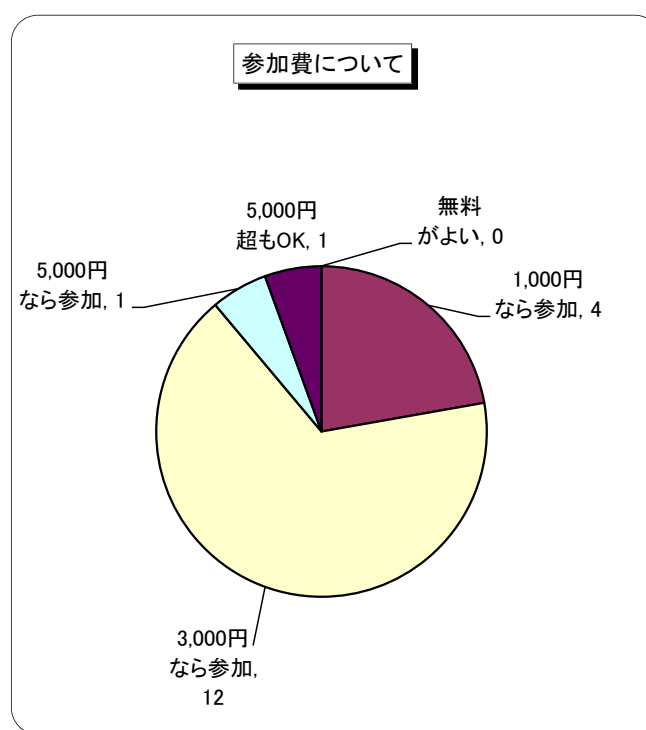


アンケート回収数23枚(参加者:44名、演者4名を除いた回収率:58%)

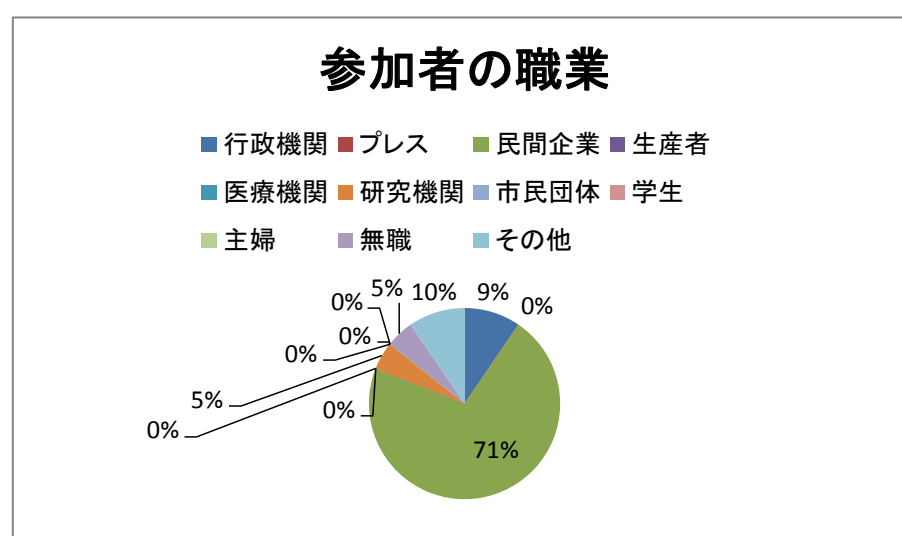
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	食・農業環境の放射能汚染	田野井慶太郎	9	8	2	1	0
2	食品添加物メーカーは何を語るべきなのか	荒井 祥	10	9	2	0	0
3	遺伝子組み換え作物のリスコミのあり方	佐々木 幸枝	16	6	0	0	0
4	パネル・ディスカッション:『食の安全・安心の最適化にリスコミは有効か』	進行 山崎	10	7	1	0	0
5			0	0	0	0	0
6			0	0	0	0	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどう思われますか?	0	4	12	1	1
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOから隔月でメルマガを発行しておりますが、無料購読を希望される方はメールアドレスをご記入ください。	(別紙)				



職業	
行政機関	2
プレス	0
民間企業	15
生産者	0
医療機関	0
研究機関	1
市民団体	0
学生	0
主婦	0
無職	1
その他	2



各講演やフォーラム/SFSSへのご意見・コメント:

No.	コメント	講師
1	食・農業環境の放射能汚染	田野井慶太郎
1	0	
2	0	
3	0	
4	0	
5	0	
6	順序立てて大変分かり易い説明でした。	
7	久しぶりに放射性物質について復習するよい機会になりました。世間では過去の話となりつつある放射性物質汚染が福島では全袋検査していることを知りませんでした。	
8	0	
9	0	
10	全袋検査しているということで安心を得られている部分がある中で、コストがかかるという問題もある。風評被害に対抗していくためにはコストをかけてでも科学的根拠となるデータで示していく方がよい気がした。	
11	0	
12	0	
13	0	
14	カリウム肥料の効果(セシウム抑制)が大変興味深かったです。	
15	0	
16	0	
17	ベクレル、シーベルトの関係などたいへんよくわかった。	
18	0	
19	0	
20	0	
21	0	

22	イネとカリウムの関係性の説明が興味深かった。全袋検査をやめるには、やめる2年前には条件を示して(連続5年間検出0袋の地域はやめるなど)実行するのが妥当と思う。	
23	0	

<b>2 食品添加物メーカーは何を語るべきなのか</b>		<b>荒井 祥</b>
1	リスコミの課題はもう少し触れて欲しかった。	
2	0	
3	0	
4	0	
5	0	
6	添加物メーカーのリスココミュニケーションがよく分かった。	
7	0	
8	0	
9	0	
10	無添加＝安心(よいもの)というイメージは根強く、食品加工メーカーもそうしたニーズに対応していかざるをえない状況の中で保存料はじめ添加物の役割を消費者に知ってもらうことは重要だと感じた。そうした機会をつくることの難しさはあると思う。	
11	非常にしっかりと語られており、信頼の高い会社だとお見受けしました。メディアがそれに呼応しないのは困ったものです。	
12	0	
13	0	
14	食中毒や放射性物質よりも食品添加物のほうが不安に思っているとは思いませんでした。	
15	0	
16	教科書にまで間違っただけの内容が記載されていることに驚きました。教育者に向けた教育の必要性を感じました。	
17	ご苦労がよくわかりました。	
18	0	
19	0	
20	0	
21	私も健康を気にする消費者の方が多くて添加物に関しても敏感だと感じます。でも食品の影響強化のビタミンは「コレは何? 何からできてるの?」等聞かれますが「サプリメントのようなもの」と説明すると安心されたりします。いいところだけを取り入れたいという心理ですね。使うとこんなに便利ということが伝わるとよいと思います。	
22	「アンチ食品添加物」の方は自分が手間ヒマをかけていることを(高く)評価してほしいと感じる。手間ヒマかけて添加物なしの食品を家族に提供している(できる)人は、それでよいと思う。そういう人も含めて「説得」しようとするから企業の「我田引水」のようなコミュニケーションと受けとられてしまうのでは? 食品添加物メーカーがコミュニケーションの対象とすべきは食品添加物を含む食品を必要とする人(多忙な人など)なのでは?	
23	0	

<b>3 遺伝子組み換え作物のリスコミのあり方</b>		<b>佐々木 幸枝</b>
1	リスコミの具体論が参考になった。	
2	0	
3	0	
4	0	
5	国内の生産者は利便性があっても売れない物は作らないと思います。流通側からGM使用製品が売れる仕組みを作るような働きかけが必要だと思いました。	
6	もう少し科学技術の話もあっても良かったかと思えます。	
7	リスコミの難しさを実感することができました。新しい技術でこれほどまでに議論になることもないと思います(安全性の懸念ではないですが)	
8	0	
9	0	
10	メーカー側が“無添加””組換えではない”という表示をすることによって作り手側(消費者も含めて)の負担が大きくなっているということが認識できた。	
11	0	
12	0	
13	0	
14	無いと枯渇する、これだけ身近に既にあるというよりも、これだけ便利とコソコソと説明するほうが良いのではないのでしょうか。	
15	0	
16	GMについてあまり知識がなかったのでとても勉強になりました。消費者とのコミュニケーションのとり方について「視覚・聴覚」に訴える、身近であることというお話が特に参考になりました。	
17	たいへんわかりやすかったと思います。	
18	0	
19	0	
20	0	
21	世間の農業についての状況、日本のおかれている状況がよくわかりました。弊社でも農業の後継者不足の話が出ますが将来の食糧難は深刻だと感じます。	
22	「遺伝子組換え」の名称をかえることをあきらめることは、コミュニケーションを放棄することとイコールだと思う、名称を変え、その背景を語ること。またなぜバイオテクノロジーが必要かを継続して説明していくことが遠回りのようで近道だと思う。	
23	0	

<b>4 パネル・ディスカッション: 『食の安全・安心の最適化にリスコミは有効か』</b>		<b>進行 山崎</b>
1	0	
2	0	
3	0	
4	0	
5	0	
6	0	
7	0	
8	0	
9	濃縮した際の安全性は際限なく調べる必要はないが、お茶石けんの小麦アレルギーのように使用者が増えて発覚する危害もあると思うので、ある程度は考慮されてもよいかもしれないと思う。	
10	0	
11	0	
12	0	
13	0	
14	演者よりも説明がわかり易いと思いました。手作りの食品(菓子など)にも添加物はそれなりに使うはずなのですが受け入れは難しいですね。	
15	0	
16	0	
17	いつもどおりの感じでした。	
18	0	
19	0	
20	0	
21	遺伝子組換えの表示の件、山崎さんがおっしゃられたように企業が正直に表示する、隠さないようになるといいなと思います。使わなければ食糧が足りなくなるということをセットで消費者の方に伝えていかないといけないと感じます。	
22	「修正」の努力と並行して「説明」の努力が必要。教科書に今日のような内容が載るくらいの働きかけが未来を開くのでは?	
23	放射性物質の基準でいちばん問題だと考えるのは汚染割合の仮定が高すぎる点。一般食品の50%が100bq/kg、牛乳なら100%が50bq/kgの放射性物質を含むという仮定に基づいている。これを問題にしてほしい。あまりに現実ばなれしている。	

7 今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	
1	一般参加者が少ない。リスコミを受ける側の参加が必要では。 ⇒【SFSS山崎より】本フォーラムは定員40名でリスコミのあり方を議論することが目的となっております。一般消費者むけのフォーラムは告知の費用もかかりますが、今後SFSSで検討してまいります。
2	ばくぜんと不安に思っていたことが根拠がなかったことがわかった。頭ではわかったつもりになっていても、ずっと思い込みしていたものってなかなかかわりにくいんですね。
3	参加者の幅を広げる工夫が大切でしょう。できれば色々な意見がぶつかることも興味あり。
4	0
5	イメージで悪い物と思っている消費者の意識や行動を変えるのは簡単ではないと思いますが、それぞれのお立場で伝える努力をされていることがわかりました。
6	勉強になりました。有難うございます。
7	パネルディスカッションの前に休憩したほうが意見の集約が容易になると思いました。⇒【SFSS山崎より】来年より、その方向で検討いたします。
8	0
9	内容はよいが民間の人がもっと参加してくれるとよい。⇒【SFSS山崎より】1と同様です。
10	0
11	0
12	基本テーマのリスコミの在り方(有効性)について最後にもう少しFocusして欲しかった。⇒【SFSS山崎より】来年より、その方向で検討いたします。
13	0
14	添加物も遺伝子組換えも強迫と受け取られたり開き直ったりすることなく理解してもらうことが大変だけど大切と感じました。
15	0
16	0
17	0
18	初めて参加しましたが解り易く仕事に活かせる内容で勉強になりました。
19	0
20	0
21	食品添加物も遺伝子組換えもメディアではネガティブな面だけが大きく伝えられていると感じてましたが今回のお話でやはりとてもご苦労されていると感じました。
22	生活者にとって一見マイナスな価値をもつものについて説明しようとするとき、そのものズバリの説明から入ったら必ず失敗する。オーディエンスとの接点をさぐりながら背景とか思いとかを語ることが大切。その上で安全情報はオーディエンスの耳に入るのだと思う。大事なことは「今の生活」を続けるために、なぜ〇が必要かを語る。 (放射性物質に関しては、もっと人情に迫るコミュニケーションが必要かも) 読者が困らない・危険が及ばない情報は、新聞記事としての優先度が低い。それは企業が広告として展開したら? というスタンスが主だと思う。消費者(読者)と企業側に軋轢がおきているという”話題”なら取り上げられるかも。
23	GM作物は従来の育種とはちがうという前提がまずおかしいと思うのだが。表示の必要はないと思う。

8 今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？	
1	0
2	風評はなくせるのか。米の全量全袋検査や食品の放射能検査をやめる方法とか手順。消費者に納得してもらうにはどうすればいいか。
3	表示法対応で事業者の苦労と問題点をとりあげては？
4	0
5	0
6	喫煙、飲酒、睡眠不足、運動不足といった食の安全との隣接分野を取り上げてはいかがでしょうか。
7	0
8	0
9	0
10	0
11	0
12	0
13	0
14	0
15	0
16	0
17	0
18	0
19	0
20	0
21	食品表示法で表示が変わることによって本当に消費者が知りたい安全・安心の情報が得られるようになるのか？なったのか？各メーカーの表示が切り替わり落ち着いた頃にぜひお願いしたいです。
22	「無添加」を声高に唱える人の心理。「無添加」が受け入れられる(支持される)背景を考える。
23	0

9 当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか？	
1	0
2	0
3	専門家(特に東大)が中心となって活動している団体として科学的な見解を必要に応じて表明してゆくことを期待します。
4	0
5	0
6	研修制度。セミナーの内容を一般消費者に広く伝達する事業
7	0
8	0
9	0
10	情報提供
11	0
12	0
13	0
14	0
15	0
16	0
17	0
18	食品安全安心の誤報道(デマ情報)まとめサイト(くり返し使われている誤報道はそれほど多くない。適切にアップデートしていくSNSでの否定引用にすぐ使える)の運営
19	0
20	0
21	原材料名の素材と食品添加物を分けること、アレルギーの表示、製造所固有記号のDB制度
22	0
23	0